

○ 鶉な鶉んの巢のハ海邊の汐し又の茅の中の又ハ蒲の中の

引ばてゐて立なりめのどしのこを同車をして立を毎

そ東かじ夏のふなれども玉と多に多の内なれども

飯之飢也五月初旬より中頃なり

○地王の巢六
乾^{むん}の巢
火
時
均
べ
皇
又
卵
と